

編集後記

昨年 10 月より編集委員長を務めさせていただいております、高知大学理学部の藤代でございます。歴代の編集委員長をお務めになられた先生方と比べますと力不足の点はございますが、熱測定誌の更なる発展のため精一杯努めさせていただきますので、皆様のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本号では大阪大学の中澤先生の学会賞受賞解説、「安全・リスク管理と熱測定」というテーマの特集解説 4 編を掲載させていただきます。学会賞受賞記事では、中澤先生がこれまでに精力的に取り組まれてきた、微量の分子性化合物を対象とした熱容量測定や分子性スピ液体の新規な量子基底状態の熱力学的な実験を通じて、電子間相互作用が織りなす多様な物理現象が紹介されています。特集記事は、私たちの生活にかかわる安全・リスク管理に熱測定がどのように活用されているのかに重点を置いてまとめさせていただきました。日本原子力研究開発機構の菊地先生からは、高速増殖原型炉「もんじゅ」における冷却材ナトリウムと構造コンクリートの反応における熱分析及び速度論解析による検討を、横浜国立大学の三宅先生からは、化学プロセスを安全に管理するために必要な情報を理解するツールとしての熱測定技術と評価事例を紹介していただいております。また、2011 年の東日本大震災で大量に発生した災害廃棄物が引き起こす自然発火とその対策について千葉科学大学の古積先生より、放射性廃棄物の安全な処理方法についての事例を首都大学東京の横田かほりさん（吉田先生のグループ）より紹介していただいております。

熱測定が、ミクروسケールの純粋科学の分野から安全・リスク管理といった私たちの生活に身近な分野にまで非常に幅広く適応可能であることを、本号の記事より感じていただけたと思います。ご執筆いただいた方々並びに査読を快くお引き受けくださった先生方に、心より御礼申し上げます。

(藤代 史)

【複写される方へ】 Notice about photocopying

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写して下さい。但し（社）日本複写権センター（同協会より権利を再委託）と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません。（社外頒布用の複写は許諾が必要です。）

権利委託先：（中法）学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル、TEL. 03-3475-5618、FAX. 03-3475-5619、E-mail: info@jaacc.jp

なお、著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡ください。また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc., 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, U.S.A. FAX. +1-978-646-8600

2016 年度「熱測定」編集委員会

（委員長）藤代 史

（編集委員）池内 賢朗、神山 匡、戸田 昭彦、西本 右子、菱田 真史、三宅 淳巳、米持 悦生

（拡大編集委員）伊豆津 健一、木村 二三夫、中澤 康浩、丹羽 栄貴、林 英子、山崎 淳司

熱測定 Vol.43, No.1, 2016

昭和 52 年 5 月 27 日 第 4 種郵便物（学術刊行物）認可

平成 28 年 1 月 20 日 印刷

平成 28 年 1 月 25 日 発行

発行人 日本熱測定学会 城所 俊一

事務局 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-6-7 宮沢ビル 601
TEL. 03-5821-7120 FAX. 03-5821-7439 E-mail: netsu@mbd.nifty.com

熱測定原稿 E-mail: edit@netsu.org
学会ホームページ <http://www.netsu.org/>
郵便振替口座 00190-5-110303